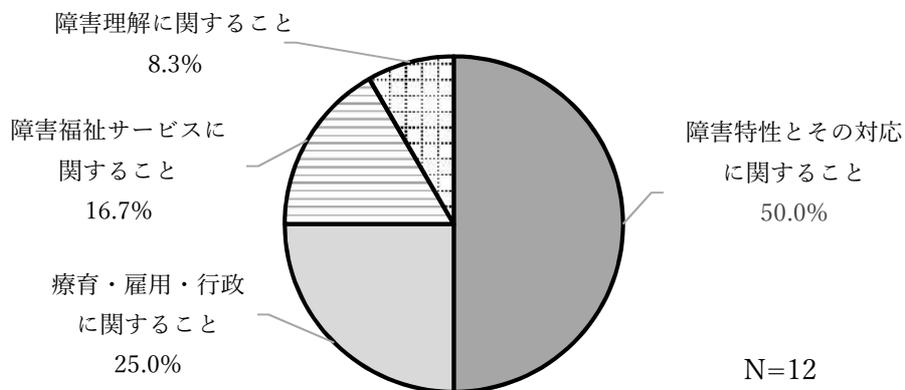


自由記載について (障害福祉サービス事業所)

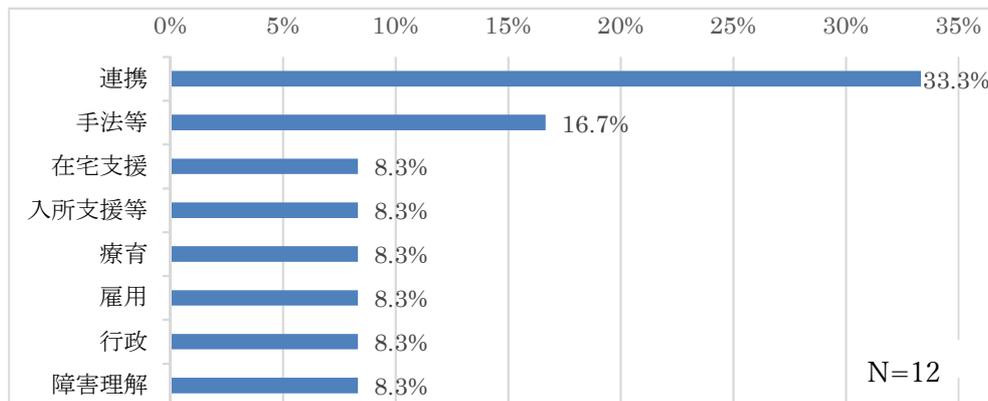
8 事業所から 12 件の回答

【概要】

1. 自由記載意見の内容



2. 項目ごとの内訳



3. 主な意見

- ・入所(短期を含む)先が見つからず、在宅支援も無く、精神科レスパイト入院しかない現実があります。緊急の受け入れ先と、入所、通所、在宅支援に繋げるための施設が必要だと思えます。
- ・強度行動障害支援を行う上で関係機関との連携の難しさを感じています。
- ・チームで支援を行う場合の主となる機関が明確になっておらず、担当者会議等も十分な意味をなしていません。チームで取り組む仕組み作りを切に望みます。
- ・一人一人が納得いく支援を目指しています。本人が納得いくために必要な支援方法を見つける手段としてツールを活用して試みる場合があります。

【記載内容一覧】

1. 障害福祉サービスに関すること (2件)

項目	キーワード 短文	記述内容
在宅支援	〔強度行動障害〕 サービスの拡充	(1件) ・強度行動障害児、それを支える家族への在宅支援サービスの拡充が必要だと考えます。
入所支援等	〔強度行動障害〕 緊急時の受け入れ先と入所等につなげる施設の整備	(1件) ・入所(短期を含む)先が見つからず、在宅支援も無く、精神科レスパイト入院しかない現実があります。緊急の受け入れ先と、入所、通所、在宅支援に繋げるための施設が必要だと思います。

2. 療育・雇用・行政に関すること (3件)

項目	キーワード 短文	記述内容
療育	〔発達障害〕 早期発見が重要	(1件) ・発達障害がベースで精神障害に発展したケースの利用者の支援に当たる事が多い。年齢もやや高齢化している傾向もある。発達障害の境界ギリギリの方も多く、早期の発見と専門的な療育・教育を行っていれば現在の状況に陥ってなかったと思われる利用者が多く存在する。
雇用	〔発達障害〕 障害特性を活かせる職場の確保	(1件) ・当方、パソコンを使つてのA型事業所です。精神障害者が多いのですが根底に発達障害を抱えています。どなたも、知的レベルは高くパソコンに関する知識・認識もあります。ただ、コミュニケーション交流が苦手なため他者との関係を築きにくいようです。このような方々の障害特性を活かせる職場が欲しいと願っています。

行政	<p>[強度行動障害]</p> <p>専門施設の設置と相応の報酬単価や人員の配置</p>	(1件)	<ul style="list-style-type: none"> 当施設は心理担当職員の配置がないため、加算請求は行っておりませんが、毎年、若干名の(強度行動障害者支援者養成研修)受講を進めて現在に至ります。加算請求をしておりませんので、強度行動障害者としての正式な診断を受けている児童はいません。施設内の利用者同士の兼ね合いや、支援の分散を鑑みると行政が専門施設を立ち上げて、見合った報酬単価や人員配置の基準を設けるとより良い支援が提供なされていくものだと感じています。
----	--	------	---

3. 障害理解に関すること (1件)

項目	キーワード 短文		記述内容
障害理解	<p>[発達障害]</p> <p>周囲の理解が大切</p>	(1件)	<ul style="list-style-type: none"> 発達障害と言っても一人ひとりの特性は異なる。一人ひとりの個性、特性を周りの人たちがよく理解していくことが大切だと思う。

4. 障害特性とその対応に関すること (6件)

項目	キーワード 短文		記述内容
連携	<p>[強度行動障害]</p> <p>他機関連携が難しい</p>	(2件)	<ul style="list-style-type: none"> 強度行動障害支援を行う上で関係機関との連携の難しさを感じています。 学校との連携など、他施設との連携の図り方が難しい。
	<p>[強度行動障害]</p> <p>チーム支援の仕組みづくりが必要</p>	(1件)	<ul style="list-style-type: none"> チームで支援を行う場合の主となる機関が明確になっておらず、担当者会議等も十分な意味をなしていません。チームで取り組む仕組み作りを切に望みます。
	<p>[発達障害]</p> <p>連携を図っている</p>	(1件)	<ul style="list-style-type: none"> 支援者は客観的な概念を持って他の支援サービス者と協議(サービス担当者会議等)して支援に当たっている。

手 法 等	〔発達障害〕 EMDR(眼球運動による脱感作と再処理療法)の活用	(1件)	・トラウマの処理に、EMDRを勧め、一緒に取り組んでいます。
	〔発達障害〕 ツールの活用	(1件)	・一人一人が納得いく支援を目指しています。本人が納得いくために必要な支援方法を見つける手段としてツールを活用してことがあります。